

第7期 介護保険事業計画に記載の指標進捗状況（平成30年度）

5つの基本目標と評価指標

（1）計画全体の施策に係る評価指標

指 標	評価方法（徴取先：総合企画政策室）
生きがいを感じながら、安心して暮らしている高齢者の割合	市民意識調査において、「生きがいを感じながら、安心して暮らしている」、「どちらかといえば、安心して暮らしている」と回答した65歳以上の人数割合を集計し、計画全体の推進状況の評価に活用します。 【現状値（平成28年度）】78.5%

平成30年度

- ▶ 生きがいを感じている _____ 77.9%（現状値）
（問：日ごろの生活の中で生きがいを感じている）
- ▶ 生涯安心して快適に暮らすことが出来ると思う 61.0%（参考値 65歳以下含む）

（問：現在お住いの住宅と周辺地域の住環境について、生涯、安心して快適に暮らすことができると思う）

※31年度実施（4～5月）の市民意識調査結果を平成30年度の進捗状況とする。

指 標	評価方法（徴取先：地域包括支援センター）
エリア会議等の実施回数	年度ごとにエリア会議等の実施回数を集計し、時系列評価を行うことで、地域課題の共有やニーズ把握、関係者のネットワーク構築、地域におけるサービス開発、施策化等地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組状況の評価に活用します。 【現状値（平成28年度）】合計 91回 ・ エリア会議（個別地域ケア会議） 27回 ・ 多職種連携研修 3回 ・ 在宅支援実務者会議 5回 ・ 介護支援専門員事例検討会・研修会 19回 ・ まちじゅう元気リーダー会議 37回

平成30年度 合計 1,047回

- ・ エリア会議（個別地域ケア会議） 29 回
- ・ 多職種連携研修 4 回
- ・ 在宅支援実務者会議 5 回
- ・ 介護支援専門員事例検討会・研修会 21 回
- ・ まちじゅう元気リーダー会議 988 回

（２）基本目標１「健康寿命の延伸」に対する評価指標

指 標	評価方法（徴取先：地域包括支援センター）
介護予防に資する住民主体の通いの場の開催数（「まちの保健室」が参加したもの）	年度ごとに介護予防に資する住民主体の通いの場（まちの保健室が参加したもの）の開催数を集計し、時系列評価や地域間比較を行うことで、住民主体の介護予防活動の取組状況の評価に活用します。 【現状値（平成 28 年度）】 563 回

平成 30 年度 788 回

指 標	評価方法（徴取先：介護・高齢支援室）
65 歳以上新規認定申請者数及び割合	年度ごとに新規認定申請者の状況を集計し、時系列評価や地域間比較を行うことで、介護予防活動の推進状況と生活支援の充実状況の評価に活用します。 【現状値（平成 28 年度）】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規認定申請者数 962 人（第 2 号被保険者及び転入申請者を除く） ・ 65 歳以上人口（平成 29 年 3 月末住基人口）に対する割合 4.10%

平成 30 年度

- ・ 新規認定申請者数 1,031 人（第 2 号被保険者及び転入申請者を除く）
- ・ 65 歳以上人口（平成 31 年 3 月末住基人口）に対する割合 4.22 %

指 標	評価方法（徴取先：介護・高齢支援室）
65歳以上新規認定者数及び割合	<p>年度ごとに新規認定者の状況（要支援・要介護度別）を集計し、時系列評価や地域間比較を行うことで、介護予防活動の推進状況と、生活支援の充実状況の評価に活用します。</p> <p>【現状値（平成 28 年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規認定者数 936 人（第 2 号被保険者及び転入申請者を除く） （内訳）要支援 1…131 人、要支援 2…181 人、要介護 1…223 人、要介護 2…158 人、要介護 3…100 人、要介護 4…88 人、要介護 5…55 人 ・ 65 歳以上人口（平成 29 年 3 月末住基人口）に対する割合 3.99%

平成 30 年度

- ・ 新規認定者数 1,026 人（第 2 号被保険者及び転入申請者を除く）
- （内訳）要支援 1…157 人、要支援 2…213 人、要介護 1…264 人、要介護 2…160 人、要介護 3…100 人、要介護 4…75 人、要介護 5…57 人 ※ 参考 4/1 65 才以上人口 24,404 人
- ・ 65 歳以上人口（平成 31 年 3 月末住基人口）に対する割合 4.20%

指 標	評価方法（徴取先：介護・高齢支援室）
日常生活圏域ニーズ調査による健康に関連する指標の状況	<p>【現状値（リスク該当者割合（平成 28 年度））】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動器機能低下 15.0% ・ 閉じこもり 17.7% ・ 転倒 32.5% ・ 低栄養 1.4% ・ 口腔機能低下 24.1% ・ 認知 46.9% ・ うつ 38.0% ・ 手段的自立度（IADL）低下 5.2% ・ 知的能動性低下 12.0%

※次回調査時まで数値なし

指 標	評価方法（徴取先：総合企画政策室）
健康な暮らしを送っていると感じている高齢者の割合	市民意識調査において、「健康な暮らしを送っていると感じている」「どちらとといえば感じている」と回答した 65 歳以上の人数割合を集計し、介護予防活動の推進状況の評価に活用します。 【現状値（平成 28 年度）】 71.1%

平成 30 年度 71.1 % （問：現在、自分は健康である。）

※年代別集計については、7 月頃集計の見込（31 年度市民意識調査）

指 標	評価方法（徴取先：総合企画政策室）
週に 1 回以上運動している高齢者の割合	市民意識調査において、週一回以上スポーツに親しんでいる 65 歳以上の人数割合を集計し、時系列評価により運動や身体活動の促進状況、また、生きがいにつながる活動の促進状況の評価に活用します。 【現状値（平成 28 年度）】 49.6%

平成 30 年度 54.9 %

（問：あなたは、どの程度スポーツに親しんでおられますか）

※年代別集計については、7 月頃集計の見込（31 年度市民意識調査）

指 標	評価方法（徴取先：総合企画政策室）
生涯学習（学習や文化活動、趣味など）に取り組んでいる高齢者の割合	市民意識調査において、生涯学習に取り組んでいる 65 歳以上の人数割合を集計し、時系列評価により生きがいにつながる活動の促進状況の評価に活用します。 【現状値（平成 28 年度）】 56.3%

平成 30 年度 46.3 %

（問：自らの人生を楽しく豊かにするために「生涯学習」といわれる自ら進んで行う学習や文化活動、趣味などに取り組んでいる）

※年代別集計については、7 月頃集計の見込（31 年度市民意識調査）

指 標	評価方法（徴取先：健康・子育て支援室）
特定健康診査、がん検診の受診率	<p>年度ごとに特定健康診査の実施率やがん検診の受診率を集計し、時系列評価を行うことで、生活習慣病の発症予防や重症化予防の推進状況の評価に活用します。</p> <p>【現状値（平成 28 年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健康診査実施率 38.9% ・ 胃がん検診受診率 17.0% ・ 大腸がん検診受診率 22.2% ・ 肺がん検診受診率 32.1% ・ 乳がん検診受診率 23.8% ・ 子宮がん検診受診率 24.7%

平成 30 年度

- ・ 特定健康診査実施率 42.4%
- ・ 胃がん検診受診率 15.0%
- ・ 大腸がん検診受診率 23.6%
- ・ 肺がん検診受診率 31.7%
- ・ 乳がん検診受診率 19.2%
- ・ 子宮がん検診受診率 22.3%

指 標	評価方法（徴取先：地域包括支援センター）
「まちの保健室」の相談件数	<p>年度ごとに「まちの保健室」の相談件数を集計し、時系列評価を行うことで、多様化する地域課題やニーズを早期に把握し関係機関につなぐなど、生活不安の軽減に向けた取組状況の評価に活用します。</p> <p>【現状値（平成 28 年度）】 19,614 件</p>

平成 30 年度 26,751 件

(3) 基本目標2「要介護となった高齢者の尊厳と自立を支えるケアの推進」に対する
評価指標

指 標	評価方法（徴取先：介護・高齢支援室）
サービス基盤整備数	介護老人福祉施設や小規模多機能型居宅介護等の整備数について、認定者数の推移や介護保険給付実績などの運営実績等を検証しながら、サービス基盤の充実にに向けた取組状況の評価に活用します。 【現状値】第5章参照

第6期介護保険事業計画における施設等整備状況

介護サービス名	目標数	実績数	差引	備 考
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	80床	60床	△20床	社会福祉法人名張育成会 (H29.07 開設)
地域密着型介護老人 福祉施設 (地域密着型特別養護老人 ホーム)	20床	29床	9床	社会福祉法人おきつも福祉会 (H30.06 開設)
認知症対応型共同生 活介護 (認知症高齢者グループ ホーム)	18床	18床		社会福祉法人こもはら福祉会 (H28.05 開設) 社会福祉法人名張育成会 (H29.04 開設)
小規模多機能型居宅 介護	2事 業所	0		公募したが応募者なし
認知症対応型通所介 護	2事 業所	0		整備済施設の利用率が低いた め公募せず

指 標	評価方法（徴取先：介護・高齢支援室）
介護支援相談員の派遣回数	年度ごとに介護支援相談員の派遣回数を集計し、時系列評価を行うことで、施設サービスの質の向上に向けた取組状況の評価に活用します。 【現状値（平成 28 年度）】 95 回

平成 30 年度 113 回

（４）基本目標 3 「認知症ケアの推進」に対する評価指標

指 標	評価方法（徴取先：社会福祉協議会）
地域におけるスクエアステップ定期開催場所・スクエアステップリーダー養成者数	年度ごとに、認知機能向上等に効果的な「スクエアステップ」定期開催箇所数と、「スクエアステップ」を広めるリーダー養成数を集計し、時系列評価を行うことで、認知症予防として社会交流や、認知機能低下の予防に向けた取組状況の評価に活用します。 【現状値（平成 28 年度）】 ・ 定期開催場所 14 か所 ・ 平成 28 年度末までの養成者数 115 人

平成 30 年度

- ・ 定期開催場所 23 か所
- ・ 平成 30 年度末までの養成者数 182 人

※定期的に開催⇒月 1 回以上開催の教室を集計することとする（社協前川さんと協議済）H30 年度の数値は、31 年 3 月 28 日に上記徴取済

指 標	評価方法（徴取先：地域包括支援センター）
認知症サポーター養成数	年度ごとに認知症サポーター養成講座を受講した認知症サポーターの養成数を集計し、時系列評価を行うことで、認知症に理解がある地域社会の構築に向けた取組状況の評価に活用します。 【現状値（平成 28 年度）】 876 人 ※平成 28 年度末までの養成者数 7,649 人

平成 30 年度 1,070 人

※平成 30 年度末までの養成者数 9,503 人

4 「在宅医療の充実と在宅医療・介護連携の推進」に対する評価指標

指 標	評価方法（徴取先：総合企画政策室）
地域医療機関（開業医や公立病院等）での現在の医療体制に満足している市民の割合	市民意識調査において、現在の医療体制に「十分満足している」「一応満足している」と回答した市民の人数割合を集計し、時系列評価により在宅医療の充実状況の評価に活用します。 【現状値（平成 28 年度）】 52.8%

平成 30 年度 62.1 %（問：地域医療機関での、現在の医療体制について）
 ※年代別集計については、7 月頃集計の見込（65 歳以上）

指 標	評価方法（徴取先：医療福祉総務室）
在宅医療支援センターによる相談件数	年度ごとに在宅医療支援センターによる相談件数を集計し、時系列評価を行うことで、在宅療養者への支援が図れているかの評価に活用します。 【現状値（平成 28 年度）】 <ul style="list-style-type: none"> ・相談実件数 88 件 ・相談のべ件数 153 件

平成 30 年度

- ・相談実件数 88 件
- ・相談のべ件数 702 件

指 標	評価方法（徴取先：医療福祉総務室）
医療・介護多職種連携研修の実施件数、参加人数	年度ごとに医療・介護多職種連携研修の実施件数や参加人数を集計し、時系列評価を行うことで、医療、福祉、保健従事者などのネットワークづくりが図れているかの評価に活用します。 【現状値（平成 28 年度）】 <ul style="list-style-type: none"> ・実施件数 11 回 ・参加人数 延べ 1,300 人

平成 30 年度

- ・実施件数 8 回
- ・参加人数 1,074 人

(6) 基本目標5「日常生活を支援する体制の整備」に対する評価指標

指 標	評価方法（徴取先：社会福祉協議会）
地域における生活支援活動の実施状況	<p>地域によるサロンや配食ボランティア、生活支援活動の実施状況を把握し、日常生活を支援する体制整備の推進状況の評価に活用します。</p> <p>【現状値（平成29年10月）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援活動 8地域 ・コミュニティカフェ（カフェスペースでの交流の場） 8か所（6地域） ・ふれあい・いきいきサロン（高齢者等サロン）81か所（14地域） ・配食ボランティア 8団体（8地域） <p>※コミュニティカフェは、名張市社会福祉協議会把握数。ふれあい・いきいきサロン、配食ボランティアは、名張市ボランティアセンター登録数</p>

【現状値（平成31年10月）】

- ・生活支援活動 10 地域
- ・コミュニティカフェ（カフェスペースでの交流の場） 8 か所（6 地域）
- ・ふれあい・いきいきサロン（高齢者等サロン） 83 か所（15 地域）
- ・配食ボランティア 8 団体（8 地域）

※コミュニティカフェは、名張市社会福祉協議会把握数

ふれあい・いきいきサロン、配食ボランティアは、名張市ボランティアセンター登録数

指 標	評価方法（徴取先：総合企画政策室）
地域づくり活動に参加した ことのある 65 歳以上の市民 の割合	市民意識調査において、地域づくり活動（地域づくり組織・区・自治会などの活動）に「現在参加している」、「過去に参加した経験がある」と回答した 65 歳以上の人数割合を集計し、日常生活を支援する体制整備の推進状況の評価に活用します。 【現状値（平成 28 年度）】 72.7%

平成 30 年度 69.4 %

（問：あなたは、地域づくり活動に参加したことがありますか）

指 標	評価方法（徴取先：総合企画政策室）
住宅と周辺地域の住環境に ついて、生涯、安心して快適 に暮らすことができると思 う高齢者の割合	市民意識調査において、「そう思う」、「どちらかといえどそう思う」と回答した 65 歳以上の人数割合を集計し、日常生活を支援する体制整備の推進状況の評価に活用します。 【現状値（平成 28 年度）】 65.3%

平成 30 年度 65.5 %

（問：現在お住いの住宅と周辺地域の住環境について、生涯、安心して快適に暮らすことができると思う）

第7期 取組と目標に対する自己評価（平成30年度）

※計画に記載の指標を含む

指標① エリア会議等の実施回数

年度ごとにエリア会議等の実施回数を集計し、時系列評価を行うことで、地域課題の共有やニーズ把握、関係者のネットワーク構築、地域におけるサービス開発、施策化等地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組状況の評価に活用

指標② 介護予防に資する住民主体の通いの場の開催数（「まちの保健室」が参加したもの）

時系列評価や地域間比較を行うことで、住民主体の介護予防活動の取組状況の評価に活用

指標③ 「まちの保健室」の相談件数

「まちの保健室」への相談件数を集計し、時系列評価を行うことで、多様化する地域課題やニーズを早期に把握し関係機関につなぐなど、生活不安の軽減に向けた取組状況の評価に活用

指標④ 65歳以上新規認定申請者数及び割合・65歳以上新規認定者数及び割合

年度ごとに新規認定申請者の状況を集計し、時系列評価や自治体間比較を行うことで、介護予防活動の推進状況と生活支援の充実状況の評価に活用

指標⑤ 特定健康診査、がん検診の受診率

年度ごとに特定健康診査の実施率やがん検診の受診率を集計し、時系列評価を行うことで、生活習慣病の発症予防や重症化予防の推進状況の評価に活用

指標⑥ 地域密着型サービス事業所数

地域密着型サービス事業所数を集計し、時系列評価を行うことで、住み慣れた地域での支援や地域のネットワーク構築の推進状況の評価に活用

指標⑦ 認知症サポーター養成数

年度ごとに新規認定申請者の状況を集計し、時系列評価や地域間比較を行うことで、介護予防活動認知症サポーター養成講座を受講した認知症サポーターの養成数を集計し、時系列評価を行うことで、認知症に理解がある地域社会の構築に向けた取組状況の評価に活用

用

指標⑧ 医療・介護多職種連携研修の実施件数、参加人数

医療・介護多職種連携研修の実施件数や参加人数を集計し、時系列評価を行うことで、医療、福祉、保健従事者などのネットワークづくりが図れているかの評価に活用

指標⑨ 地域における生活支援活動の実施状況

地域によるサロンや配食ボランティア、生活支援活動の実施状況を把握し、日常生活を支援する体制整備の推進状況の評価に活用

指標⑩ 地域づくり活動に参加したことのある65歳以上の市民の割合

市民意識調査において、地域づくり活動（地域づくり組織・区・自治会などの活動）に「現在参加している」、「過去に参加した経験がある」と回答した65歳以上の人数割合を集計し、日常生活を支援する体制整備の推進状況の評価に活用